

第42回「環境賞」表彰式を開催しました



6月17日(水)、経団連会館にて第42回「環境賞」の表彰式を行いました。

今年度の受賞者は環境大臣賞・優秀賞1件が選ばれたほか、優秀賞1件、優良賞2件、奨励賞1件の右記5団体です。

各受賞テーマの詳細は、財団ホームページで公開しているほか、12月発行予定の「季刊 環境研究」180号に受賞論文を掲載しますので、ぜひご覧ください。



地球環境戦略研究機関 (IGES)
浜中 裕徳 理事長
記念パーティー乾杯のご発声



合志 陽一 審査委員長
審査概評

【財団ホームページ環境賞授賞式トピックス】

<http://www.hitachi-zaidan.com/topics/topics005.html>

第42回「環境賞」受賞一覧(敬称略)

【環境大臣賞・優秀賞】

◆ 迅速測定が可能な放射能分析技術

三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 西沢 博志
三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 林 真照
三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 東 哲史
九州大学大学院 総合理工学研究院 渡辺 幸信
九州大学大学院 総合理工学研究院 金 政浩

【優秀賞】

◆ 低環境負荷の緑茶飲料充填システム

株式会社伊藤園 生産本部 田熊 元彦
東洋製罐株式会社 テクニカル本部 末 俊雄

【優良賞】

◆ コンクリートからの効率的リサイクル技術

大成建設株式会社 技術センター土木技術研究所
堀口 賢一

◆ 貝殻を活用した魚の棲める環境回復技術

貝殻利用研究会 (JF全漁連)

【奨励賞】

◆ 北海道根釧地方における低投入型草地管理による 河川流域の環境保全

北海道当別高等学校園芸デザイン科 佐々木 章晴
虹別コロカムイの会 館 定則
マイペース酪農交流会 森高 哲夫

「季刊 環境研究」No.179号

特集【環境と災害/レジリエンス】を発行しました。今号の特集では、東日本大震災後の除染、災害廃棄物処理についての記事のほか、今年3月に仙台で開催された「第三回国連防災世界会議」の開催報告、「防災と環境インフラのあり方」をテーマとした座談会などを掲載しています。環境サイエンスカフェの講演録は特集テーマに合わせて第25回「巨大津波」と第26回「超巨大地震の科学」の2本を紹介しています。



環境サイエンスカフェ シリーズ 「気候変動の影響」

今年度の環境サイエンスカフェは、それぞれの研究分野でアクティブな若手の研究者を講師に迎え「気候変動の影響」をテーマに開催(全5回)しています。今号では、5回シリーズの(1)と(2)の会場様子を紹介します。

(1) 温暖化の過去と未来 -異常気象と不確実性-

国立環境研究所 塩竈 秀夫さん
(6月10日 参加者47名)

(2) 温暖化による世界の氷河融解

-海面上昇と水資源への影響-
東京大学大学院 平林 由希子さん
(7月29日 参加者38名)

異常気象と氷河融解、どちらも精密な数値シミュレーションによる研究で明らかになった過去と将来予測の話で、人間活動の影響についても触れられました。

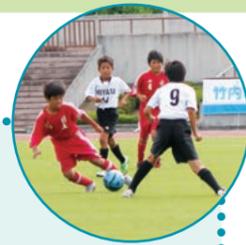


第38回 竹内亀次郎記念杯 日立市少年少女スポーツ育成大会

茨城県日立市の小学生が所属するスポーツ団体を対象とした「竹内亀次郎記念杯日立市少年少女スポーツ育成大会」を日立市体育協会と日立市スポーツ少年団本部の共催で8月22日・23日に開催しました。スポーツを通じて少年少女の健全な心身の育成と友情や連帯感を育てることを目的としており、各会場で力強い対戦を繰り広げ観客から熱い声援を受けていました。

参加チーム数・選手数 合計 88チーム、1,138名

軟式野球	11チーム	165名
バレーボール	12チーム	107名
ミニバスケットボール	20チーム	248名
サッカー	38チーム	493名
バドミントン	7チーム	125名



日立スカラーシップ奨学生、笠戸事業所を訪問

日立スカラーシップでは毎年8月に奨学生を対象に夏季研修旅行を実施しています。日頃、日本各地の大学院に散らばっている奨学生同士が親睦を深める場であると同時に、日本の文化や自然、そして産業に触れる機会となるよう、毎年趣向を凝らして実施しています。

今年は、8月24日から2泊3日の日程で、山口県の日立製作所笠戸事業所を見学し、その後、萩、津和野を散策しました。台風15号の影響で雨や強風に見舞われましたが、無事に全旅程を終えることができました。

今年3月に北陸新幹線が金沢まで開通したことで、奨学生たちも新幹線への関心が高く、笠戸事業所が北陸をはじめJR東海、JR西日本向けの新幹線であふれ、英国向けの高速度車両や私鉄向けの車両が工場内を埋め尽くす様子にたいへん感銘を受けていました。丁度この時期に、タイ・チュラロンコン大学のソムサク教授(日立スカラーシップ第一期生・1985年)が来日しており、夏季旅行に駆け付け、奨学生を激励してくれました。先輩や後輩、同期生との絆を大切にしていきたいとの奨学生の皆さんの強いこの思いが夏季旅行を通じて伝わってきました。



萩を散策



日立製作所 笠戸事業所にて



ストックホルム犯罪学賞

ストックホルムで開催された「ストックホルム犯罪学賞」に今年度も助成いたしました。当財団は賞が設立された2005年からストックホルム犯罪学賞を支援しています。この賞は、犯罪研究に優れた業績、もしくは、研究結果を応用して犯罪の低減と人権の促進に貢献した方に贈られる犯罪学の国際賞といわれています。

The
Stockholm Prize
in Criminology



こども・みらい・サポート事業開催

日本BBS連盟と共催で、子どもの健全育成とBBS会員のスキルアップを目的とした、第15回こども・みらい・サポート「～潮風を感じ、大空へはばたこう in しまなみ～」と題し、愛媛県今治市にて開催しました。地元の小学5・6年生50名が1泊2日の日程で集まりました。



「犯罪と非行」誌 180号

「犯罪と非行」180号が9月30日に発行されました。



巻頭言 公益財団法人日立財団の設立に寄せて……田中 幸二

エッセイ 「考える」科学者から「感じる」科学者へ……藤田 浩哉
子どもからどう話を聞くか:司法面接法の開発と実践……仲 真紀子
小さな業書にも思いを込めて
——「心を語る手紙」のこと……中井 貴恵

特集 刑務所出所者等の社会復帰支援と国民理解
刑事施設における受刑者の更生支援について……大橋 哲
検察における起訴猶予等に対する再発防止の取組について
——京都地方検察庁における取組を中心に……中村 葉子
高齢犯罪者の社会復帰支援の取組の現状と課題
——矯正と保護の連携を中心に……古川 隆司
「地域生活定着支援センター」と多機関連携……伊豆丸剛史
刑務所出所者等の就労支援について
——協力雇用主のものとでの取組の拡大に向けて……杉山 弘晃

海外の犯罪学動向
ストックホルム犯罪学賞と環境犯罪学
——ロナルド・クラークの受賞に寄せて……守山 正

各種研究報告
和歌山刑務所における地域支援モデル事業について……吉武 舞子
更生保護施設「しらふじ」における社会復帰支援の現状と今後の課題……矢野 善郎
戦後日本における保護司制度の確立過程
——司法保護から受け継がれた使命・教育の理念……細野 ゆり
外国人犯罪に関する研究
——施設内処遇への含意を中心に……新海 浩之

書評 太田達也著「刑の一部執行猶予 犯罪者の改善更生と再発防止」……城下 裕二

公開シンポジウムのお知らせ……

あとがき……

表紙デザイン・写真 平野 浩太郎

平成27年度 第43回小平記念教育資金贈呈式

茨城県における基礎教育の振興と豊かな人間性・創造性を備えた児童や生徒を育成するために著しく成果を上げた優秀校に毎年教育資金を贈呈しています。

小平記念教育資金受賞校

部門	学校名
学力向上の推進	大洗町立 夏海小学校
科学技術教育の推進	つくばみらい市立 谷和原中学校
環境教育の推進	日立市立 大久保中学校
国際理解教育の推進	常総市立 海道中学校
心の教育の推進	神栖市立 波崎第一中学校

イベント情報

シンポジウム・講演会のご案内

テ ー マ	ネット社会と少年非行
日 時	2015年11月28日(土) 13時～17時
基 調 講 演	日米子育て比較 ～どうやって子どもを大人にするか～ ダニエル・カール氏 (タレント、山形弁研究)
シンポジウム	「犯罪学からみたネット社会」 守山 正 氏 (拓殖大学 政経学部 教授) 「ネット社会と子どもの犯罪被害・加害の実態」 寒川 由美子 氏 (NHK解説委員) 「ネット社会と非行少年の特性」 青木 治 氏 (多摩少年院 首席専門官) 「ネットに生きる子どもの危うさ」 遠藤 美季 氏 (エンジェルズアイズ 代表)
場 所	東お茶の水ビル
募 集 人 数	300名
申 込 み	FAXまたはメール 詳しくは財団HPを ご覧ください。 
	【申込メール送信用QRコード】

テ ー マ	火山国日本 知って備えて楽しむ火山
日 時	2015年12月5日(土) 13時30分～15時 (13時開場)
講 師	山岡 耕春 氏 名古屋大学地震火山研究センター 教授 火山国日本に住む私たちと火山とは切っても切れない関係にあります。一旦噴火すると災害をもたらす火山ですが、その何倍も私たちに恩恵を与えてくれます。風光明媚な日本も火山無くしては成り立ちません。火山の「おもしろさ」と火山の「怖さ」を知って火山と安全につきあうため、噴火のしくみや災害、富士山などの身近な活火山についてお話いただきます。
場 所	国立科学博物館 (入館無料・見学可能です)
募 集 人 数	100名 (受付順)
申 込 み	FAXまたはメール 詳しくは財団HPを ご覧ください。 
	【申込メール送信用QRコード】

詳しい内容・申込み方法については財団ホームページをご覧ください。 <http://www.hitachi-zaidan.org/>

親子ふれあい工作教室 凧づくり・凧あげ

八王子BBS会に協賛している「親子ふれあい凧づくり教室」を今年度も下記日程で開催します。昨年、「和紙・日本の手漉和紙技術」が無形文化遺産に登録され話題になった和紙を使用して凧を作ります。

第1回	日 時	2015年12月5日(土) 午前9時45分～午後3時	講 師	江刺 祐造 氏 (日本の凧の会)、 新戸部 啓二 氏 (日本の凧の会)
	会 場	八王子市立七国小学校 (体育館・校庭)		募 集 (先着順)
第2回	日 時	2015年12月12日(土) 午前9時45分～午後3時	申 込 み 方 法	日立財団ホームページをご覧ください。
	会 場	八王子市立柵田小学校 (体育館)	締 切 り	11月30日

編集後記

日立財団としてスタートし半年が経過しました。戸惑いながらのスタートでしたが事業年度の半分を無事終えました。これもひとえに関係各位のご協力のたまものと感謝しております。今年度後半も「イベント情報」に掲載した事業に加え、小平奨励賞、小平記念作文コンクール、日立スカラシップ卒業式、サイエンスカフェなどのイベントや、「環境研究」、「犯罪と非行」、「家庭教育研究所紀要」の発行なども予定しておりますので、盛りだくさんの内容で次号もお届けします。11月末と12月初めのシンポジウムと講演会が多くの皆さまに日立財団の事業に直接触れていただく良い機会となりますよう職員一同、全力で進めております。皆さまのご参加をお待ちしております。

公益財団法人 日立財団

hitachizaidan@hdq.hitachi.co.jp

TEL 03-5221-6675 FAX 03-5221-6680

所在地 〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号
丸の内センタービル12階

財団ホームページ ▶ www.hitachi-zaidan.org